



## 2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年9月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 学情

コード番号 2301 URL <https://company.gakujo.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中井 清和

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 ゼネラルマネージャー (氏名) 野嶋 稔彦

TEL 06-6346-6830

四半期報告書提出予定日 2021年9月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年10月期第3四半期の業績(2020年11月1日～2021年7月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	3,824	△0.2	714	31.1	884	29.8	606	34.0
2020年10月期第3四半期	3,833	△22.1	545	△52.9	681	△44.2	452	△46.1

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	42.76	42.58	42.76	42.58
2020年10月期第3四半期	31.30	31.23	31.30	31.23

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年10月期第3四半期	11,887	11,079	11,079	10,961	92.9	780.79	780.79	
2020年10月期	11,967	10,961	10,961	10,930	91.3	763.35	763.35	

(参考)自己資本 2021年10月期第3四半期 11,044百万円 2020年10月期 10,930百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年10月期	—	16.00	—	—	—
2021年10月期(予想)	—	—	—	17.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年10月期の業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	13.6	1,570	32.1	1,670	21.7	1,130	21.8	79.76

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期3Q	15,560,000 株	2020年10月期	15,560,000 株
② 期末自己株式数	2021年10月期3Q	1,414,074 株	2020年10月期	1,240,802 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期3Q	14,174,483 株	2020年10月期3Q	14,452,244 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想の前提条件その他に関する事項については、添付資料の3ページ「1. (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。なお、実際の業績等は今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2020年11月1日～2021年7月31日)におけるわが国経済は、2021年4～6月期の国内総生産(GDP)速報値はプラスに転じるなど経済活動は回復へと向かいつつも、依然として新型コロナウイルス感染症の流行拡大に歯止めがかからず、再三の緊急事態宣言の影響もあって経営成績回復の先行きには不透明さが残る状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、非接触型の採用活動の増加に対応すべく、動画を中心とする採用のオンライン化、DX化の動きに対応する新商品を次々と投入し、多様化、細分化する企業の採用ニーズを捉えてまいりました。一方、採用のミスマッチ防止の観点からリアルな接触機会に対するニーズも高まっており、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に行いながら「就職博」の開催を継続し、企業側、求職者側双方から支持を得ることができ、その結果、当第3四半期累計期間の売上高は38億24百万円(前年同期比99.8%)となり、経常利益は8億84百万円(前年同期比129.8%)となりました。

なお、主たる事業である「就職情報事業」につきましては、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間(2020年11月1日～2021年7月31日)における新卒採用市場は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響はあるものの、2022年3月卒業予定学生に対する企業の採用意欲は高く、約7割の企業がインターンシップを採用活動へ連携させるなど、7月発表の内々定率(6月25～30日当社調査)は74.8%と昨年同時期を12.0ポイント上回る状況となりました。しかしこれは、企業、学生双方が二極化し、重複内定が増加しているということでもあり、例年以上に学生からの内定辞退が発生しており、7月時点で採用活動継続中の企業は72.5%(前年同期64.0%)となりました。この状況を受けて、2022年3月卒業予定者に対する追加採用企画に対するニーズと共に、採用活動の早期化へ対応すべく2023年3月卒業予定者に対するインターンシップ告知媒体へのニーズも高まってきています。

「就職博」に関しましては、緊急事態宣言の発出による影響もありますが、学生とのリアルな接点に対するニーズや内定辞退に対応する即応性が人気となり、当第3四半期会計期間の「就職博」の売上高は前年同期比112.3%となりました。その結果、「就職博」の売上高は10億8百万円(前年同期比78.8%)となり、第2四半期累計期間時点の前年同期比62.2%から大きく改善することとなりました。

新卒学生向け就職サイト「あさがくナビ」に関しましては、引き続き「ダイレクトリクルーティングサイト」としてNo.1(東京商工リサーチ調べ)の会員登録数を背景に効果を発揮すると共に、“職場体感型”採用動画の「JobTube」をはじめ、導入しやすい価格設定の「JobTube Lite」、紙媒体とのハイブリッド型の「JobTubeパンフレット」が大変好評で、「あさがくナビ」の売上高は8億32百万円(前年同期比105.7%)となりました。好評の「JobTubeシリーズ」には更に、オンデマンドでも魅力的な会社説明を可能にする動画を作成する「JobTube Studio」を投入し、動画やオンラインでの採用シーンをリードしていきます。

また、若手人材に対する採用ニーズは急速に回復してきており、20代向け転職サイトNo.1「Re就活」に関しましては、コロナ禍における「働き方」の変化もあり、求職者に地方へのUITターン希望者が増加するなど、多様化、細分化するマッチングニーズに対応すべく7月にも大幅なアップグレードを行い、スカウト機能の強化を図りました。その結果、「Re就活」の売上高は7億83百万円(前年同期比102.1%)となりました。

「人材紹介事業」に関しましては、変化する就労感やマッチングニーズに対応して、「Re就活エージェント」による人材紹介事業も好調で、紹介決定数では前年同期比147.8%となり、「人材紹介事業」の売上高は1億91百万円(前年同期比113.6%)となりました。

「公的分野商品」に関しましては、過去に受託実行した様々な雇用対策事業における実績が評価され、新たな事業の受託も好調に推移した結果、「公的分野商品」の受託額は前年同期比136.2%となり、売上高は4億3百万円(前年同期比192.5%)となりました。

その結果、当第3四半期累計期間における就職情報事業全体の売上高は36億31百万円(前年同期比99.4%)となりました。

なお、足元の営業環境は前年同期比で好転しており、第4四半期会計期間にかけて更なる経営成績の回復が見込まれます。また、コロナ禍を経て今後採用支援市場におけるオンライン化、DX化の流れは加速すると予測されており、当社ではこれからも採用におけるDX関連商品を企画開発し拡販することにより、経営成績の向上を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末と比べ79百万円減少し、118億87百万円となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末と比べ1億56百万円減少し、62億52百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少7億8百万円、有価証券の増加3億88百万円、現金及び預金の増加1億54百万円があったことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末と比べ76百万円増加し、56億35百万円となりました。これは主に、投資有価証券の増加1億18百万円、差入保証金の増加74百万円、繰延税金資産の減少1億27百万円があったことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末と比べ1億98百万円減少し、5億68百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1億33百万円、未払法人税等の減少1億20百万円、賞与引当金の減少87百万円、未払金の増加83百万円、前受金の増加43百万円があったことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末と比べ増減がなく、2億39百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比べ1億18百万円増加し、110億79百万円となりました。これは主に、四半期純利益6億6百万円、配当金の支払い4億41百万円、自己株式の取得による自己株式の増加2億39百万円、その他有価証券評価差額金の増加1億89百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の業績予想につきましては、計画通り推移しており、2021年6月7日に公表しました通期業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,621,110	4,775,126
受取手形及び売掛金	1,378,844	670,285
有価証券	282,203	671,125
未成制作費	7,857	33,257
前払費用	95,736	74,057
その他	23,609	29,189
貸倒引当金	△439	△214
流動資産合計	6,408,921	6,252,828
固定資産		
有形固定資産		
建物	671,046	688,045
減価償却累計額	△358,450	△377,984
建物(純額)	312,596	310,061
構築物	6,159	6,159
減価償却累計額	△5,782	△5,822
構築物(純額)	377	337
機械及び装置	3,428	3,428
減価償却累計額	△3,218	△3,240
機械及び装置(純額)	209	187
工具、器具及び備品	37,132	32,737
減価償却累計額	△22,219	△19,094
工具、器具及び備品(純額)	14,912	13,643
土地	526,457	526,457
有形固定資産合計	854,553	850,686
無形固定資産		
ソフトウェア	288,006	284,379
電話加入権	6,505	6,505
無形固定資産合計	294,511	290,884
投資その他の資産		
投資有価証券	3,933,759	4,051,760
長期前払費用	19,616	17,966
前払年金費用	10,874	24,257
繰延税金資産	188,773	60,800
差入保証金	90,010	164,620
保険積立金	166,693	174,164
その他	6,500	6,500
貸倒引当金	△6,500	△6,500
投資その他の資産合計	4,409,727	4,493,570
固定資産合計	5,558,793	5,635,141
資産合計	11,967,714	11,887,970

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年10月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	295,951	162,020
未払金	61,115	144,820
未払法人税等	141,191	20,881
賞与引当金	167,000	79,150
前受金	20,271	63,418
その他	80,935	97,842
流動負債合計	766,465	568,134
固定負債		
長期未払金	217,800	217,800
長期預り保証金	22,146	22,146
固定負債合計	239,946	239,946
負債合計	1,006,411	808,080
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,500,000	1,500,000
資本剰余金	3,354,476	3,354,476
利益剰余金	7,500,623	7,665,545
自己株式	△1,371,141	△1,610,741
株主資本合計	10,983,958	10,909,281
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△53,391	135,674
評価・換算差額等合計	△53,391	135,674
新株予約権	30,736	34,935
純資産合計	10,961,302	11,079,890
負債純資産合計	11,967,714	11,887,970

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
売上高	3,833,539	3,824,329
売上原価	1,360,875	1,413,536
売上総利益	2,472,663	2,410,793
販売費及び一般管理費	1,927,620	1,696,038
営業利益	545,043	714,755
営業外収益		
受取利息	482	422
有価証券利息	66,468	69,975
受取配当金	15,115	16,712
受取家賃	34,452	33,899
投資有価証券売却益	20,977	55,421
その他	14,367	13,138
営業外収益合計	151,863	189,569
営業外費用		
不動産賃貸原価	6,827	6,636
新株予約権発行費	—	7,553
投資事業組合運用損	6,137	4,560
その他	2,608	973
営業外費用合計	15,574	19,723
経常利益	681,332	884,600
特別損失		
イベント中止損失	17,342	—
特別損失合計	17,342	—
税引前四半期純利益	663,990	884,600
法人税、住民税及び事業税	146,633	233,945
法人税等調整額	64,944	44,609
法人税等合計	211,577	278,555
四半期純利益	452,413	606,045

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年9月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式173,200株の取得を行いました。この自己株式の取得等により、当第3四半期累計期間において自己株式が239,599千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が1,610,741千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社の主たる事業は就職情報事業であり、その他の事業の売上高、セグメント利益等の金額は、全事業セグメントの合計額に占める割合が著しく低いため、記載を省略しております。